

【2022年上半期の救急統計（速報値）について】

2022年上半期の救急統計（速報値）を取りまとめましたので公表します。

※ 速報値としての公表であり、精査の結果、数値を修正する場合があります。

※ 平均値は2017年から2021年までの5年間の数値で、少数第二位を四捨五入して表記（搬送人員の合計、急病の二項目は小数第一位を四捨五入）し、また各項目ごとに算出しているため、平均値の合計は総数の平均値と合致しません。

※ 小数点を含む数値は、小数第二位を四捨五入して表記しています。

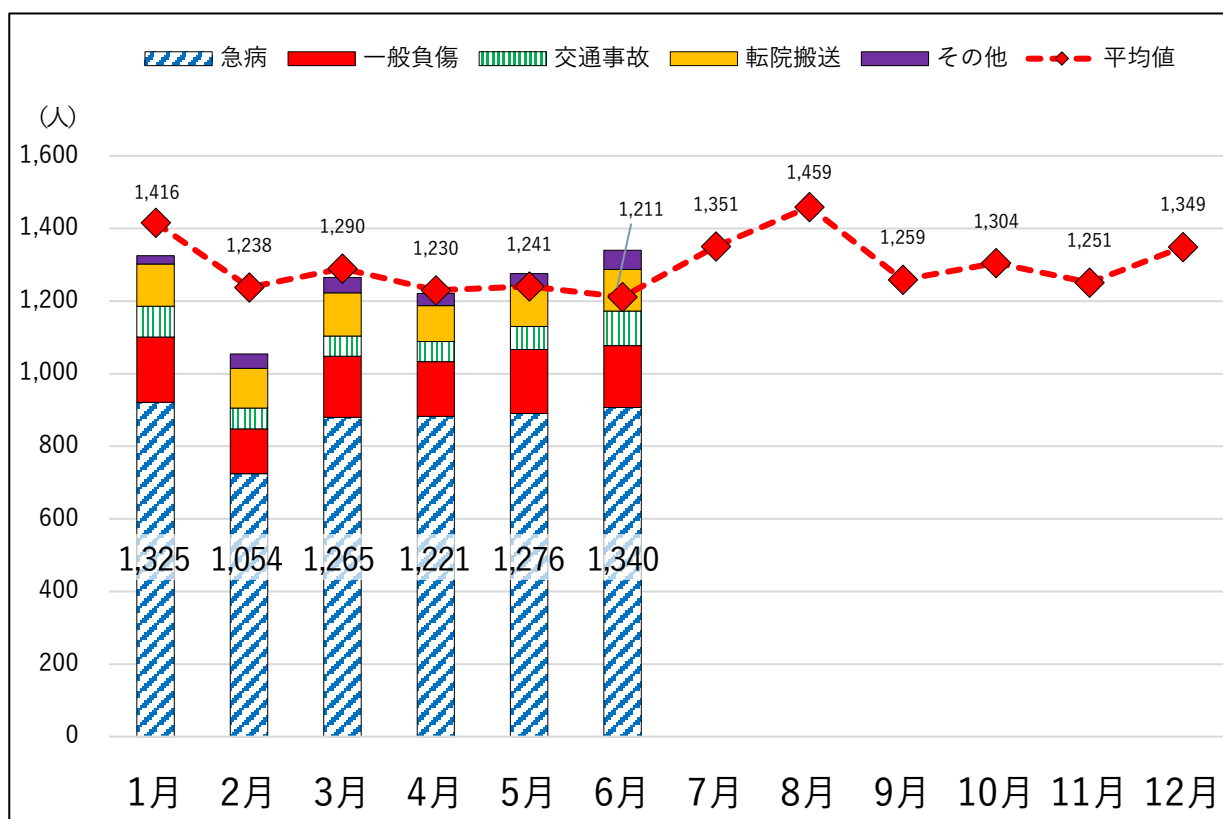
◆ 事故種別の救急搬送人員

2022年上半期の救急搬送人員は7,481人で、過去5年間（2017年から2021年まで）同期間の平均値と比較すると144人（1.9%）減少しました。

月別でみると、1月から4月は平均値を下回り、5月、6月は平均値を上回りました。

これは、5月以降、新型コロナウイルス感染症の感染者数の減少や気温の上昇などにより外出機会が増加したことが影響していると推測されます。

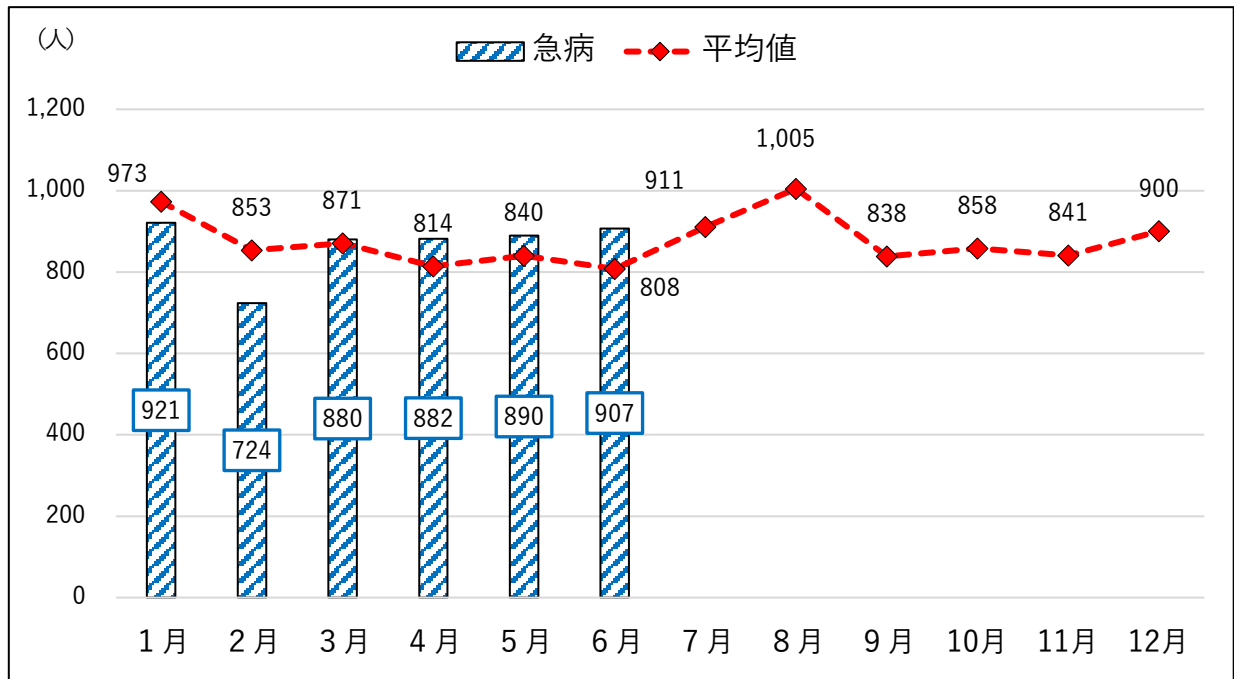
以下、事故種別（急病、一般負傷、交通事故、転院搬送、運動競技事故、労災事故、自損）の各項目の推移を示します。（総数が少ないその他の項目は省略します。）



(1) 急病

2022 年上半期の急病による救急搬送人員は 5,204 人となり、平均値と比較すると 44 人 (0.9%) 増加しました。

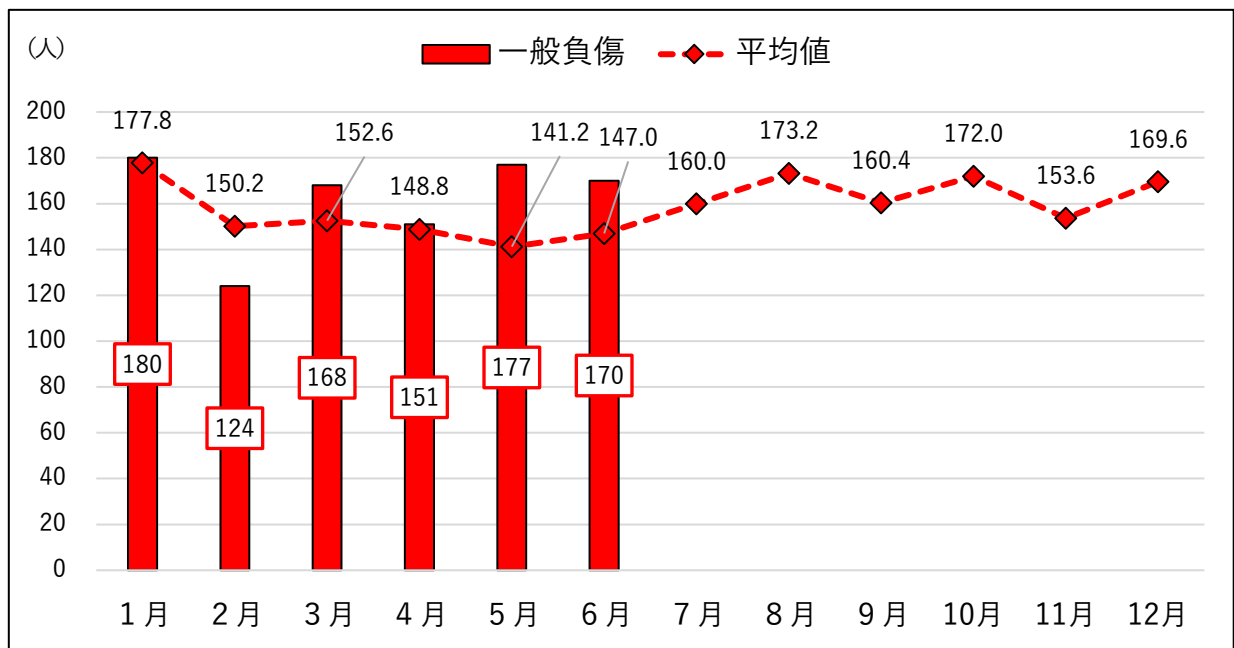
月別にみると、1月、2月は平均値を下回り、3月から6月は平均値を上回りました。



(2) 一般負傷

2022 年上半期の一般負傷による救急搬送人員は 970 人となり、平均値と比較すると 53 人 (5.8%) 増加しました。

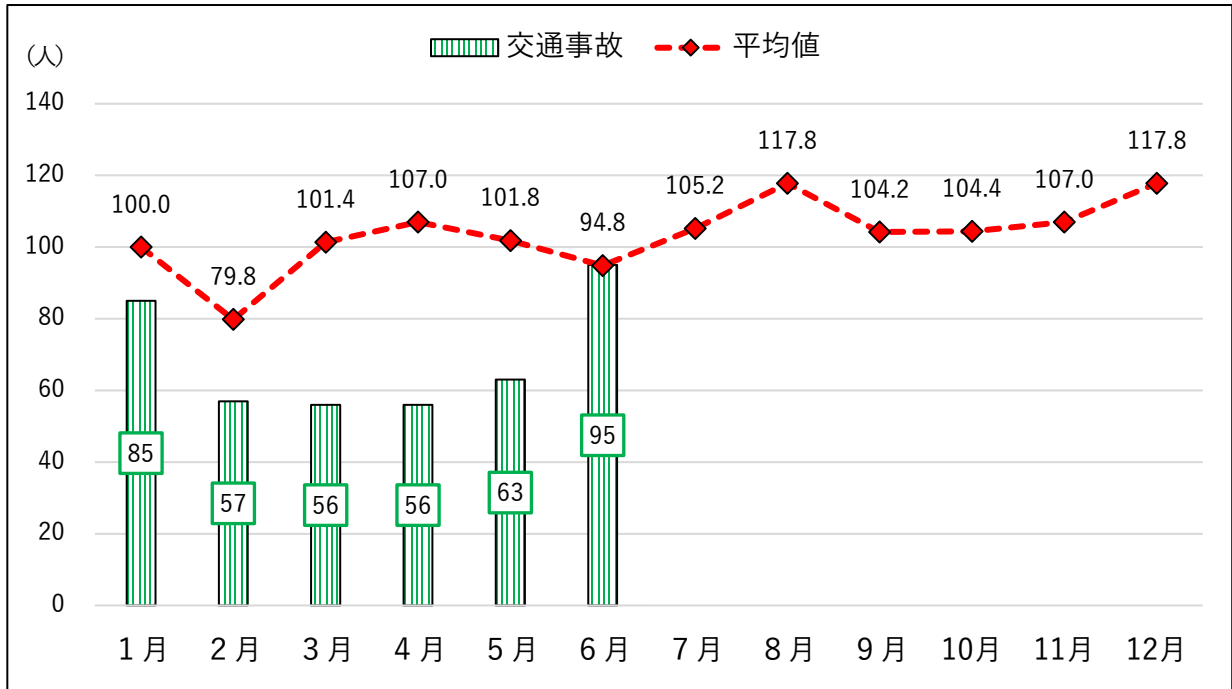
月別にみると、2月を除いて平均値を上回りました。



(3) 交通事故

2022 年上半期の交通事故による救急搬送人員は 412 人となり、平均値と比較すると 172 人 (29.5%) 減少しました。

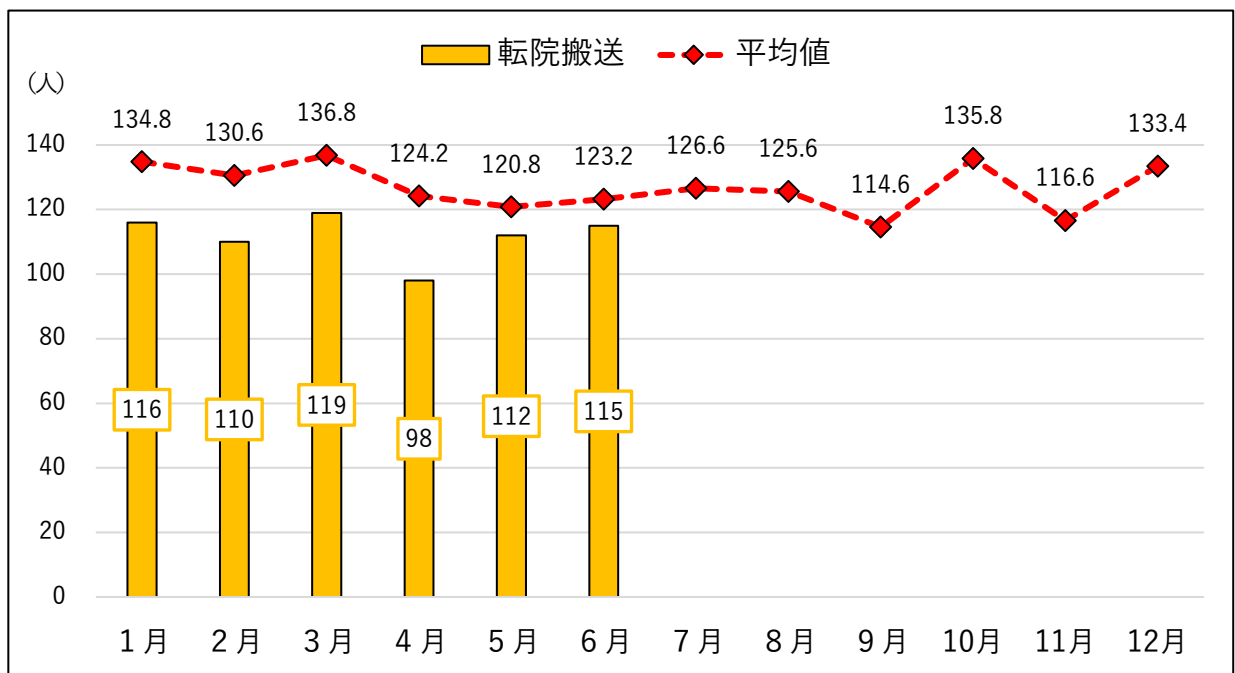
月別にみると、6月がわずかに平均値を上回った以外は平均値を下回りました。



(4) 転院搬送

2022 年上半期の転院搬送による救急搬送人員は 670 人となり、平均値と比較すると 100 人 (13.0%) 減少しました。

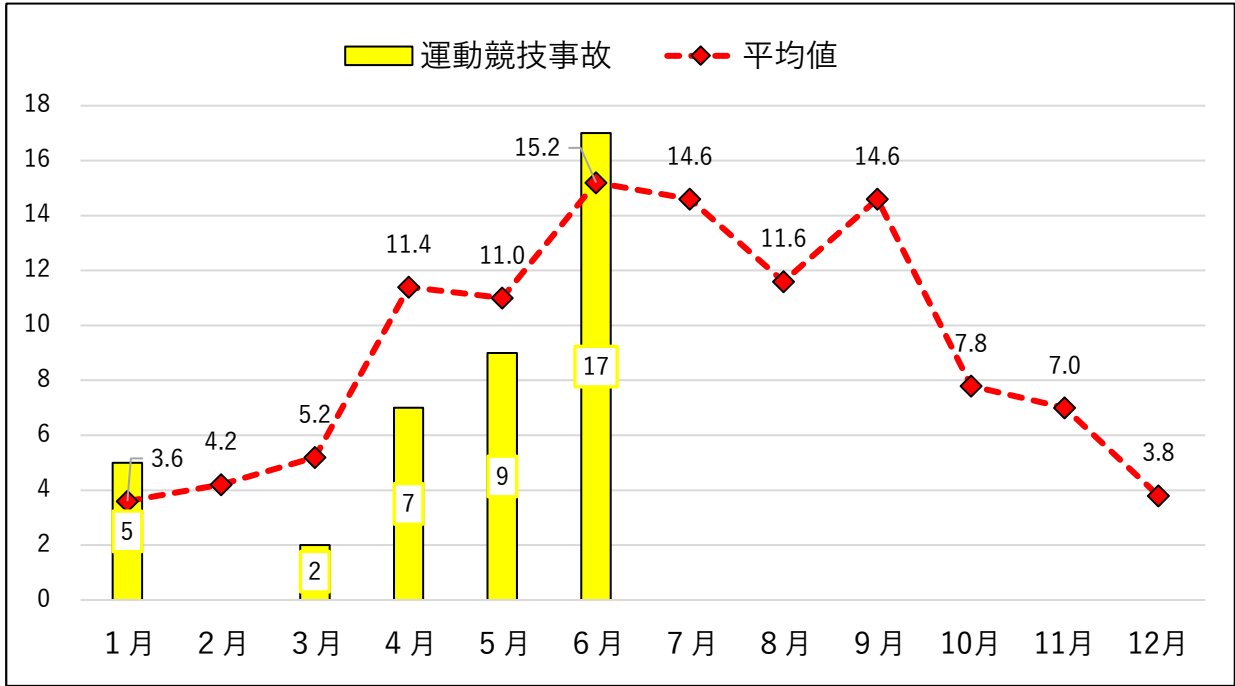
月別にみると、すべての月で平均値を下回りました。



(5) 運動競技事故

2022 年上半期の運動競技事故による救急搬送人員は 40 人となり、平均値と比較すると 10 人 (20.0%) 減少しました。

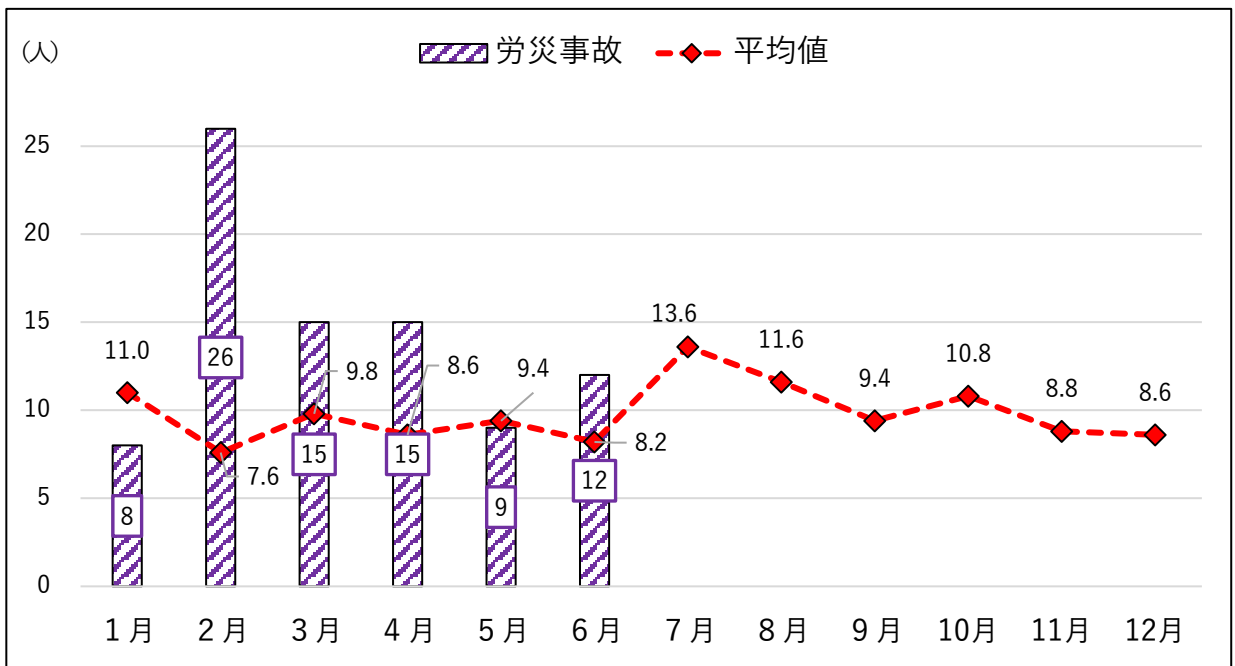
月別にみると、1 月と 6 月は平均値を上回り、それ以外は平均値を下回りました。



(6) 労災事故

2022 年上半期の労災事故による救急搬送人員は 85 人となり、平均値と比較すると 31 人 (57.4%) 増加しました。

月別にみると、1 月と 5 月は平均値を下回り、それ以外は平均値を上回りました。



(7) 自損

2022年上半期の自損による救急搬送人員は59人となり、平均値と比較すると3人(5.4%)増加しました。

月別にみると、1月と4月は平均値を下回り、それ以外は平均値を上回りました。

